

厚生労働省発健0203第7号

平成26年2月3日

特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会

理事長 渡部 享宏 殿

厚生労働事務次官 村木 厚子



厚生労働省名義の使用の許可について

平成25年12月13日付けで申請のあった厚生労働省名義の使用については、下記の事項を条件として、許可します。

記

1. 厚生労働省名義の種類は、「後援」とすること。
2. 貴殿は、厚生労働省名義の使用の許可に係る事項を変更しようとするときは、その申請をしなければならないこと。
3. 貴殿は、事業報告書及び収支決算書を厚生労働省健康局がん対策・健康増進課に提出しなければならないこと。
4. 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課は、貴殿の行為が厚生労働省名義の使用の許可の趣旨に反すると認めるときは、貴殿に対し、その是正を勧告することができること。
5. 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課は、貴殿が4の勧告に従わないときは、厚生労働省名義の使用の許可を取り消すことができること。
6. 健康増進法第25条の規定に鑑み、原則、多数の者が利用する公共的な空間については、全面禁煙とすること。全面禁煙が極めて困難な場合等においては、施設の態様や利用者のニーズに応じて、適切な受動喫煙防止対策を講じるよう努めること。



2014

子宮頸がんを考える市民の会とは？

子宮頸がんを考える市民の会は、子宮頸がんの予防・啓発を行う特定非営利活動法人です。

2005年より活動開始



政策提言に向けてのアクション

- ・全国自治体アンケート調査
- ・自治体・議員向け勉強会の開催
- ・各種制度導入のための施策提案
- ・各種要望書提出



サイト運営

- ・行政検診と指定医を検索できるWEBサイト運営（東京都限定）



一般啓発

- ・LOVE49プロジェクト
- ・講演活動
- ・各種学会出展

あなたを守る細胞診

細胞検査のプロ“細胞検査士”が、高い「精度」で細胞をチェックします。

細胞検査士会
The Japanese Society of Cytotechnologists



細胞診ってこんな検査です！

●細胞検査士とは

皆さんは「細胞診」という検査をご存知ですか？ 細胞診はがん細胞を探し出す検査で細胞診。そしてそれを行うがん検査の専門家が「細胞検査士」です。細胞検査士の使命は、細胞診結果の精度と信頼性の向上により国民の健康を守り続けることです。

●がん細胞を見つけ出す細胞検査士

細胞検査士は Cytotechnologist(CT)と呼ばれ、世界中の多くの国々で、日々、細胞診を精進しながら、がん細胞を見つけ出しています。

人間の体には数ある細胞が、およそ60兆個、その一つ一つは顕微鏡で見えないと見えぬ大きさです。そんな小さな細胞が、それぞれに決められた使命を担って生きてくれるおかげで、私たちは健やかに生活していくことができます。ところが、ときどき誤作動を繰り返すように細胞同士が喧嘩し、最終的には癌細胞をおびやかす細胞が増えてしまう……これが「がん細胞」なのです。

私たちの細胞検査士は、細胞がそれぞれの変化を監視し、その「良い細胞（女性細胞）と悪い細胞（男性細胞）の両方」を見逃さず、たくさんある細胞の中からわずかながらのがん細胞を見逃さず見つけ出すことができます。このような検査が「細胞診」そして細胞診を行う専門技術を有した検査検査士が「細胞検査士」です。



1 採取された細胞をスライドガラスに塗ります。器具を使って採取した細胞を「子宮頸がん検診など」、直接出されるものを検出する機会（厚労省など）があります。



2 ほとんどの細胞には、染め薬を塗ります。いくつかの薬品（色素）で色をつけて細胞の輪郭がわかるようにします。この過程を染色と呼びます。近年は、専用の機械を使って自動染色することが多くなっています。



3 できあがった検体は、数千〜数万の細胞が混ざっています。この中に1〜2個でもがん細胞があれば、見逃さず見つけ出せる。それが細胞検査士の技術力です。



4 細胞診を通じて、検体中の細胞をすべて観察し、異常な細胞を探し出す作業を「スクリーニング」と呼びます。異常な細胞が見つければ、細胞診専門医に知らせ、いっしょに診断して治療方針が決まります。

細胞検査士の試験と更新制度（公益社団法人 日本臨床細胞学会・認定）



細胞検査士資格取得
4年
更新期間
4年
資格更新

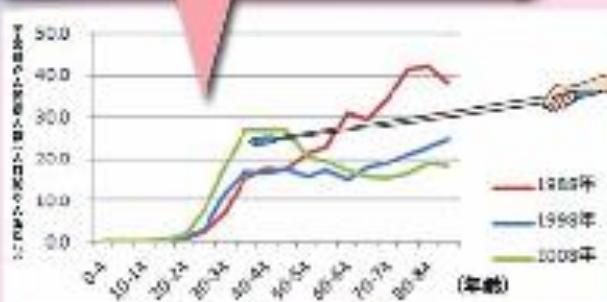
細胞検査士は、常に技術の維持と向上をめざしています！

細胞検査士資格は、4年ごとの更新制。更新のためには、4年間のうちに、定められた単位を修得しなければなりません。

更新取得の条件
- 2次試験合格者には
- 4年間のうちに
- 定められた単位を修得

あなたの子宮と命を守るために 2年に一度は、子宮がん検診を 欠かさずに受けましょう！

子宮頸がんは、20歳から発症人数増加！



国立がんセンターがん対策センター、人口動態統計（厚生労働省大臣官庁統計情報課）
資料ア-7の資料を基に作成。2005年。



今や子宮頸がんは、若い人の病気に言えるかもしれせんね。紅腫可能な年齢で子宮を大きくここのないよう、ぜひ若い時から検診を受けていただきたいと思えます。



なぜ子宮頸がん検診を受けるの？

子宮頸がん検診は、死亡率の低下だけでなく、がんの前段階を含めた早期がんを発見することを目的としています。早期にがんを発見すれば、子宮を温存した治療が可能となり、子供を産むことも可能です。定期的に子宮頸がん検診を受けることは、同時に、がんの予防につながります。

私たち細胞検査士ががん細胞を見つけます！



HPV検査も、細胞診と一緒に受けることができますよ！



子宮頸がん検診とは、子宮頸部の表面から細胞などをこすり取った細胞を顕微鏡で調べます。私たち細胞検査士は、がん細胞だけでなく、がんになる前段階の異常細胞から上皮内がん（粘膜表面にとどまる早期がん）まで、顕微鏡を使って見つけ出すことができます。（適宜もご覧ください）

30才以上の女性に推奨されている検査です。一般に、20代でのヒトパピローマウイルス(HPV)の感染は一過性（自己免疫で排除される感染）の場合がほとんど。長年にわたって持続感染こそ、子宮頸がんの発症に繋がっているといわれます。その意味でも、30才以上のHPV検査が有用となります。

Cytotechnologists work with various technologies to aid in diagnosis.



愛は子宮を救う 

当会のLOVE49活動に際し、篠ノ井総合病院 中村恵美子さんより、本活動に賛同いただいた長野市篠ノ井で活動をされている、

書道家 川村龍洲(りゅうしゅう)先生

による「愛は子宮を救う」という書を、活動に際して自由に使用しても良いということでご提供いただきました。

非常に力強い書体で、子宮頸がん検診の重要性を訴える私たちの活動を後押ししてくださるようなパワーを感じます。

川村先生にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



LOVE49♡



北海道

北海道



子宮頸がん自ら防げ

さっぽろ地下街 受診呼び掛け

4月9日の「子宮頸がんを予防する日」(子宮の日)「日LOVE49キャンペーン」を前に、子宮頸がん検診の「」が6日、さっぽろ地下

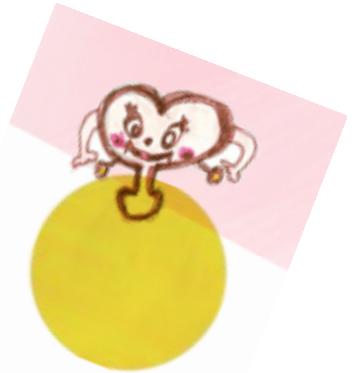
さっぽろ地下街で行われた子宮頸がん検診の受診を呼び掛けるキャンペーン

街ホールスクエアで行われた。

顕微鏡でがん細胞の有無を調べる細胞検査士をつくる北海道臨床細胞学会細胞検査士会(札幌)が、東京のNPO法人子宮頸がんを考える市民の会と連携して5年前から行っている。

オレンジのジャンパーを着込んだ細胞検査士や臨床検査技師24人が、子宮頸がん検診を漫画で紹介した資料を通りかかった女性に配った。「LOVE49」と書かれたピンクののぼりは人目を引き、用意した資料十部は1時間でなくなった。

街頭行動に参加した同学会細胞検査士会の中村厚志会長は「子宮頸がんは早期に発見すれば治療できるのに、痛みなど自覚症状がないため検診受診率は2割にとどまっている。2年に1回は受診してほしい」と話した。(石井努)



岩手県





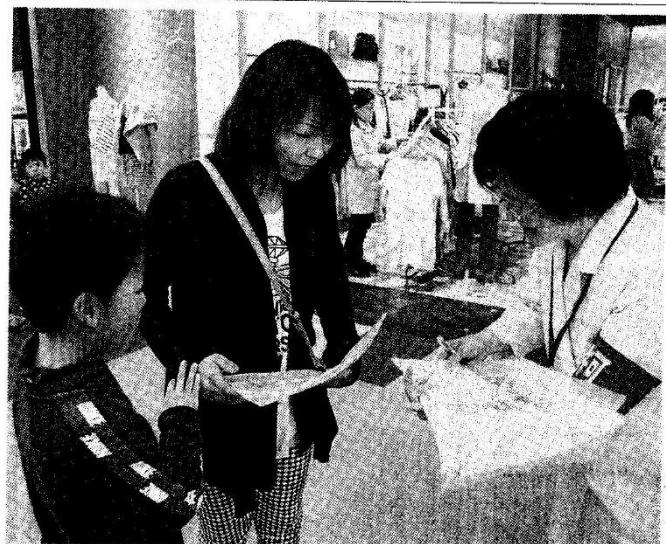
LOVE49♡



宮城県

「子宮の日」(4月9日)にちなんで子宮頸がん検診啓発活動が12日、三川町の

「子宮頸がん」検診を 細胞検査士が啓発活動展開



イオンモール三川で行われ、庄内地方の病院に勤務する細胞検査士たちが白衣姿で

リーフレットを配り、検診の大切さを訴えた。細胞検査士会庄支部(右)

細胞検査士会のメンバーが子宮頸がん検診受診の啓発活動を盛り上げた

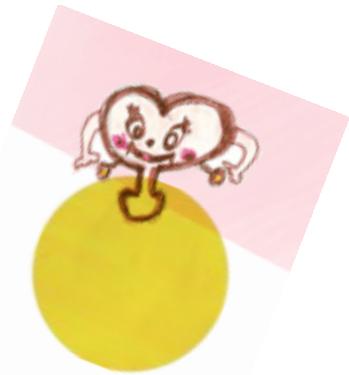


山和敏会長)の主権。日本は先進国で唯一、子宮頸がんによる死亡数が増加。特に受診率が5%程度と低い20代女性を中心に若い女性の子宮頸がんが増加していることから、細胞検査士会が2009年から全国的な啓発活動として取り組んでいる。

この日は山形市のイオンモール山形南トイザラスと三川の計2カ所で活動。このうちイオンモール三川では、酒田市の日本海総合病院や鶴岡市立庄内病院、鶴岡協立病院などの細胞検査

士計10人が参加。ヒト・パピローマウイルス(HPV)の感染によって起こる子宮頸がんについて、「検診とワクチンで確実に予防できる唯一のがん」「子宮を失う若い女性をなくしたい」などと記したリーフレット

LOVE49♡



新潟県



LOVE49♡



愛は子宮を救う



群馬県



あなたを守る細胞診

細胞診検査のプロ「細胞検査士」が
高い「精度」で細胞をチェックします



あなたの子宮を大切に
子宮頸がん検診を
欠かさず受けましょう

群馬県細胞検査士会
<http://www.jccgun.jp/kensa/>



LOVE490

LOVE49♡

千葉県



LOVE490



愛は子宮を救う



東京都



東京都



LOVE49♡



神奈川県



静岡県

子宮頸がん検診 各地で受診訴え

県細胞検査士会

9日の「子宮の日」を前に県細胞検査士会は5日、子宮頸(けい)がん検診の受診を呼び掛ける街頭活動を県内各地で展開した。

静岡市葵区の呉服町通りでは、オレンジ色のTシャツを着た会員約15人が啓発チラシを配り「子宮頸がん検診を受けて下さい」と訴えた。

同会によると、近年、20〜30代の女性に子宮

頸がんが増えているという。大塚証一副会長は「早期に見つければ子宮を切除せずに治療できる。ぜひ若い時から検診してほしい」と話した。



子宮頸がん検診の受診を呼び掛けた街頭活動
＝5日午前、静岡市葵区の呉服町通り



LOVE49♡

◇東区Ⅱ子宮頸がん検診の受診呼び掛け 4月9日の「子宮の日」を前に、県臨床細胞学会細胞検査士会は5日、子宮頸(けい)がん検診の受診を呼び掛ける街頭活動を浜松市東区のショッピングセンターで実施した。この日、全国で行われた活動の



一環＝写真Ⅱ。同会の細胞検査士や同市などの病院に勤務する臨床検査技師ら約10人が参加。全国組織のNPO法人「子宮頸がんを考える市民の会」が発行した啓発用ニュースレター約500部を来店客らに配布し、検診による早期



発見がいかに重要かアピールした。同会関係者によると、国内の子宮頸がん検診受診率は欧米に比べ大幅に低く、受診率向上が課題だという。

愛は子宮を救う



静岡県



富山県





福井県



LOVE 49♡

石川県

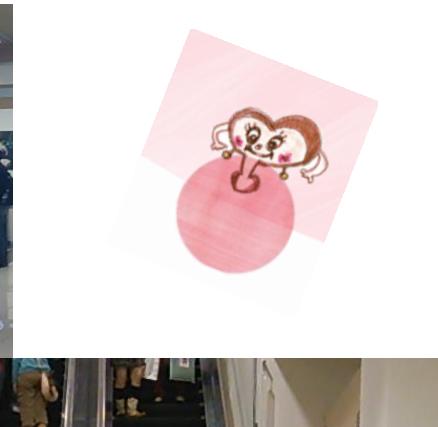




岐阜県



愛知県



LOVE 49♡

滋賀県





滋賀県

京都府



大阪府



愛は子宮を救う 



奈良県

LOVE 49 ♡
愛は子宮を救う





和歌山県



LOVE49♡



兵庫県





広島県





と今 云

みんな子宮から生まれてきた
LOVE49♡

山口新聞 H26.04.07

**子宮頸がんの
検診呼び掛け**

下関大丸でチラシ配布
子宮頸がんの検診を呼び掛ける「LOVE49プロジェクト」の啓発活動が6日、下関市竹崎町の下関大丸であり、県細胞検査士会の会員らがチラシなどを配った。

同プロジェクトは語呂合わせで4月9日を「子宮の日」として、全国の大丸・松坂屋百貨店で啓発活動しており、下関大丸では2回目。2階JR連絡口玄関などで会員ら約20人が県PR本部長のちよるると一緒にチラシなど約千セットを配って検診を呼び掛けた。がん情報サービスによる

と、県内の子宮頸がん検診受診率は約22%（2010年）。池本健三会長は「県全体で受診率が低い。予防のためには検診が大事だ」ということを知ってほしい」と話した。

下関大丸では2〜22日に1階サービスカウンターで啓発活動のための募金箱を設置し、チャリティー缶バッチ（税込み100円）を販売している。

子宮頸がんの啓発チラシを配る「LOVE49プロジェクト」のスタッフ
6日、下関市

LOVE49♡

今年は、山口県マスコット「ちよるる」も応援。そして大丸さんの「サクラパンダ」も飛入り参加。おかげで寒い中にも盛りまりました。



山口県



LOVE49♡



鳥取県

子宮頸がん検診
受診を呼び掛け
鳥取県細胞検査士会
（谷尾進司会長）は13
日、JR鳥取駅前など
で、子宮頸がん予防と
子宮頸がん検診受診を
呼び掛ける街頭啓発活
動を行った。

各病院でがん細胞検
査を行っている細胞検
査士ら約30人が参加。
「LOVE49」の
のぼり旗を掲げ、「あ
なたの子宮を大切に」
「子宮頸がん検診を受
けましょう」などと書
かれたパンフレット、
予防の基礎知識などが
載ったフリーペーパー
「49ニュースレター」
などを配った。

同会によると、日本
は先進国の中で子宮頸
がん検診の受診率が低
い。鳥取県も20%程度
にとどまり、要精密検
査率は増加傾向を見せ
ている。

細胞検査士の阿部あ
きみさん(60)は「検診を
受ければ早期に発見で
き、大切な子宮を守るこ
とができる。特に20代、
30代の女性は早めに受
けてほしい」と話して
いた。
（前嶋英雄）



パンフレットを配り、
子宮頸がん予防を呼び
掛けるメンバーら



愛は子宮を救う

母なる臓器の大切さ考えよう

4月9日は「子宮の日」。母なる臓器「子宮」が行われている島根県でも活動が予定の大切さを考えようと、NPO法人子宮頸がんを考える市民の会（東京都）が提唱しており、今年も啓発活動を全国で展開する。早期発見に向け全国で唯一、全市町村で「併用検診」が行われている島根県でも活動が予定され、県細胞検査士会の松浦幸浩会長（54）は「若い世代が検診を受けることが大切。子宮頸がんへの理解を深めて」と呼び掛けている。



島根県細胞検査士会のメンバーと啓発活動の打ち合わせをする松浦幸浩会長（右）＝松江市母衣町、松江赤十字病院

4月9日は「子宮の日」

がん早期発見へ 若い世代も検診を

子宮がんは大別して2種類あり、子宮の入り口（頸部）にできる「子宮頸がん」。かなり進行するまで自覚症状がほとんどないため、見つかった時には子宮の摘出が必要になり妊娠、出産ができなくなることもある。20～30代の女性が発症するがんとして、検査薬を使いHPV遺伝子を

島根県で子宮頸がんと診断された人（2012年）



ただ、11年度の検診受診率は30%にとどまっている。このため、松浦会長は「子宮頸がんは早期発見が鍵。20代から検診を受ければ、決して怖い病気ではない」と受診を呼び掛ける。松浦会長たちが目指すのは、早期発見による死亡率の低下はもちろん、「子宮を温存し、失わないこと」。そのために県細胞検査士会は6日、県内3カ所受診を呼び掛けるリーフレットを配るほか、検診や予防に関する相談も受け付ける。活動場所は次の通り（いずれも午後2時～同4時）。
イオン松江店（松江市東朝日町）▽ゆめタウン出雲店（出雲市大塚町）▽ゆめタウン益田店（益田市高津7丁目）

子宮頸がん検診訴え 県内3カ所で医療従事者



家族連れに子宮頸がん検診を呼び掛けるリーフレットを手渡す白衣姿の医療従事者（右）

4月9日の「子宮の日」を前に6日、子宮頸がん検診を呼び掛ける啓発活動「LOVE49（しきゅう）プロジェクト」キャンペーンが県内3カ所のショッピングセンターであり、医療従事者が買い物客にリーフレットを配布した。

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルスが原因で、子宮の入り口にできる。20～30代の女性が発症するが、1位の位だが、ワクチン接種で予防できる。

子宮の日にはNPO法人子宮頸がんを考える市民の会（東京都）が提唱。子宮細胞を顕微鏡で目視し、異常を調べる細胞検査士が中心

県内では6日午後、イオン松江店（松江市東朝日町）、ゆめタウン出雲店（出雲市大塚町）、ゆめタウン益田店（益田市高津7丁目）で活動を展開。イオン松江店には、細胞検査士や臨床検査技師ら12人が白衣やそろいのTシャツを着て買い物客にリーフレットを手渡した。県細胞検査士会の松浦幸浩会長（54）は「予防のため、まずは子宮頸がんへの理解を深めてほしい」と呼び掛けた。



島根県

愛は子宮を救う





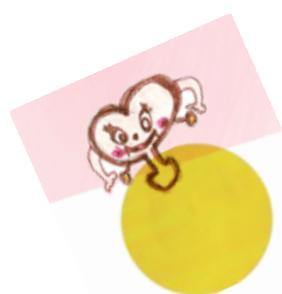
LOVE490



愛は子宮を救う



島根県



香川県

LOVE49♡



愛は子宮を救う 永谷 龍

愛媛県





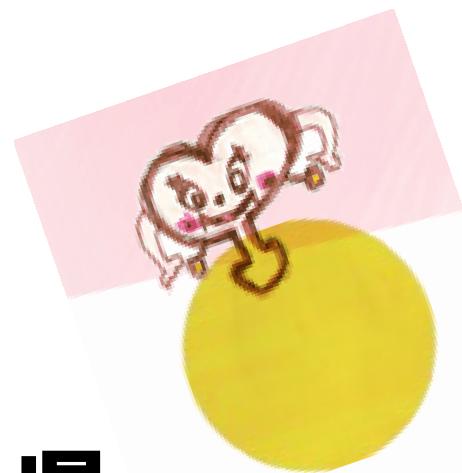
高知県



2014/04/



熊本県



大分県

福岡県



LOVE49♡



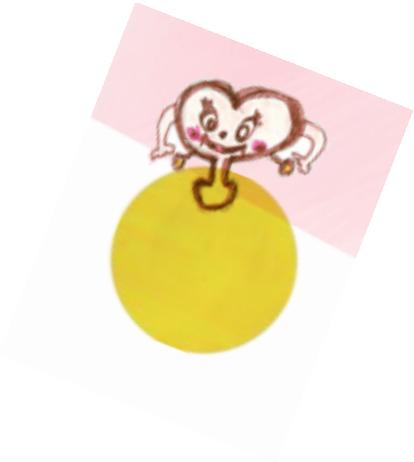


福岡県





福岡県



LOVE490





愛は子宮を救う 宮崎県

子宮頸がん 検診を啓発
 県内患者会

子宮頸(けい)がんについて広く知ってもらおうと、県内の患者会や医療関係者らは6日、宮崎市のデパート前交差点で街頭啓発キャンペーンを実施した。

子宮頸がん患者でつくる「ひめやしの会」、細胞検査士会眞支部、宮崎センチュリーライオンズクラブ、県健康づくり協会の4団体が、子宮頸の日(4月9日)前後に毎年開催。今年は約25人が参加した。

参加者は症状や検査方法などを記したパンフレットとスターチスの花束約500セツトを買い物客らに配布。「20歳以上の女性は、2年に1回は検診を受けましょう」など

国はがん検診受診率の目標値を50%に設定しているが、同協会によると、2011年の本県の子宮頸がん検診受診率は24・2%。「ひめやしの会」の田山地幸子会長(81)は「私は39歳でがんが見つかり、子宮を摘出した。早期発見のため、若い人には必ず検診に行ってもらいたい」と強調している。



LOVE490

鹿児島県

LOVE490



鹿児島県



リラックスして学べる、子宮頸がん予防啓発イベントです。

「子宮頸がんは検診が大切だと聞くけど、いまいちピンとこない」「そもそもどんな病気なの?」。そんな疑問に分かりやすくこたえ、楽しく学べるイベントを開催します。母娘で、友達と、もちろん1人でもお気軽に、新しい年度のはじまり。この機会に、自分や家族のからだについて考えてみませんか?

おごじょプロジェクト 「2014 LOVE49♡」

4月12日(土) 13:00~

at ホリスティックヘルスプラザかこしま
(鹿児島県赤十字血液センター2F)

100名
無料招待

スケジュール

- 13:00 ~ 受付
- 14:00 ~ 子宮頸がん予防トークショー
…検診と早期治療について
講師 米原 幸愛 先生
(今村病院 産婦人科部長)
- 15:00 ~ ・リフレッシュタイム♪ アカペラ鑑賞
・参加型ワークショップ

子宮頸がん啓発
パネル展示

練習高校の学生が
お手伝い♪
プチネイル体験

うれしい
お土産付き!

参加者には美味しいお茶&
スイーツをご用意♪

- ・パティスリー ヤナギムラ
- ・茶処 庭ながの
- ・ホテル 京セラ
- ・Bicycle Cafe & Sports Bar FR
- ・はるちゃん factory

・お茶の緑峰園
・アサファイト

応募 方法

- 住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望人数を明記して
往復はがきまたはメールでお申し込みください。
- 往復はがき宛先
〒890-0520 鹿児島市桜ヶ丘 0-39-1
鹿児島大学病院 病理部内「2014 LOVE49 参加申し込み」係
 - メール(問い合わせ専用)
【2014love49事務局】2014love49@grn.jp
 - 締切/定員(100人)に達し次第

会場

ホリスティックヘルスプラザ
かこしま(鹿児島県赤十字
血液センター2F)
鹿児島市博多駅前1-5
※会場へのお問い合わせは
ご連絡ください。



主 催/鹿児島県結核検査士会
共 催/鹿児島県臨床検査学会、エフエム鹿児島、南日本出版株式会社
後 援/鹿児島県、鹿児島県産婦人科医会、鹿児島県臨床検査技師会
協 賛/ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社、株式会社キアゲン



愛は子宮を救う

鹿児島県





愛は子宮を救う 永谷



沖縄県

LOVE490



沖縄県



LOVE490